



プレスリリース

2023年9月13日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

8月度「スカパー！サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の8月度受賞選手が決定いたしました。
受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金30万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～ 宇佐見 真吾 (中日ドラゴンズ) 初受賞

宇佐見選手は、8月13日(日)バンテリンドーム ナゴヤで行われた対広島東洋カープ18回戦、0対1の1点ビハインドで迎えた延長10回裏、同点に追いついた直後の無死走者なしの場面で、右翼席へ劇的なサヨナラ本塁打を放った。

中日・柳投手、広島東洋・遠藤投手の両先発投手が好投を見せ、試合は投手戦となった。柳投手は9回を投げ切り、無安打無得点に抑える好投を見せたが打線の援護がなく、試合は延長戦へ突入。延長10回表、柳投手に代わり、今季ここまで自責点無しの守護神・マルチネス投手が登板するが、堂林選手に本塁打を浴び、ついに試合の均衡が破れる。

0対1の中日ドラゴンズ1点ビハインドで迎えた延長10回裏、先頭の石川昂選手が左翼席へ起死回生の同点本塁打を放つ。スタンドの興奮が冷めやまぬ中、打席には、この日投手陣の好投を捕手として支えてきた宇佐見選手が立つ。広島東洋の守護神・矢崎投手の3球目を振り抜いた打球は、そのまま一直線にファンの待つ右翼席へ飛び込むサヨナラ本塁打となった。宇佐見選手は8月度にこの試合を含む月間3度のサヨナラ打を記録。これは落合博満選手(中日)、阿部慎之助選手(読売)以来3人目のセ・リーグタイ記録である。

宇佐見選手はスカパー！サヨナラ賞初受賞となる。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～ 浅村 栄斗 (東北楽天ゴールデンイーグルス) 4度目

浅村選手は、8月30日(水)楽天モバイルパーク宮城で行われた対埼玉西武ライオンズ22回戦、2対4の2点ビハインドで迎えた9回裏、1点差に詰め寄った直後の無死1、2塁の場面で、左翼席へ劇的な逆転サヨナラ3点本塁打を放った。

東北楽天はこの試合、3回に島内選手の適時打で逆転に成功する。先発・藤平投手が5回1失点の好投を見せると、6回からは、安樂投手、酒居投手、渡辺翔投手がそれぞれ無失点の投球を披露した。1点リードで迎えた9回表、東北楽天は絶対的守護神・松井裕投手を送り込むも、3本の適時打を浴びまさかの逆転を許してしまう。

2点ビハインドで迎えた9回裏、先頭の代打・小深田選手、続く島内選手が出塁すると、辰己選手が適時打を放ち1点差。なおも無死1、2塁の場面で、浅村選手が打席に入る。冷静にボールを見極め、迎えたフルカウントからの6球目。インコースの直球を見事に捉えると、打球は左翼席に突き刺さる起死回生の逆転サヨナラ3点本塁打となった。この試合で、チームは5連勝を記録し、3位・福岡ソフトバンクとのゲーム差を1に縮めた。浅村選手自身、2013年以来10年振りとなるサヨナラ本塁打はチームのCS進出への望みをつなぐ一打となった。

浅村選手は4度目のスカパー！サヨナラ賞受賞となる。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。





(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	中村 紀洋 (横浜DeNA)	田中 賢介 (北海道日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (北海道日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島東洋)	柘田 慎太郎 (東北楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (東北楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (東北楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (千葉ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (埼玉西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (東京ヤクルト)	B.レアード (北海道日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (東京ヤクルト)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島東洋)	嶋 基宏 (東北楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
9月度	石原 慶幸 (広島東洋)	片岡 治大 (埼玉西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (福岡ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (千葉ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島東洋)	B.レアード (北海道日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (横浜DeNA)	B.レアード (北海道日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (埼玉西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (千葉ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	B.エルドレッド (広島東洋)	A.ジョーンズ (東北楽天)
5月度	梵 英心 (広島東洋)	加藤 翔平 (千葉ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (横浜DeNA)	今宮 健太 (福岡ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (埼玉西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (千葉ロッテ)
9月度	T. ブランコ (横浜DeNA)	松井 稼頭央 (東北楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	鶴久森 淳志 (東京ヤクルト)	聖澤 諒 (東北楽天)
5月度	荒木 貴裕 (東京ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (福岡ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸 (東京ヤクルト)	J. アマダー (東北楽天)
8月度	宮崎 敏郎 (横浜DeNA)	栗山 巧 (埼玉西武)
9、10月度	安部 友裕 (広島東洋)	A.デスパイネ (福岡ソフトバンク)



(参考)過去の受賞選手

【月間スカーパー！サヨナラ賞】

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	下水流 昂 (広島東洋)	森 友哉 (埼玉西武)
5月度	山下 幸輝 (横浜DeNA)	清田 育宏 (千葉ロッテ)
6月度	山田 哲人 (東京ヤクルト)	上林 誠知 (福岡ソフトバンク)
7月度	下水流 昂 (広島東洋)	山下 斐紹 (東北楽天)
8月度	鈴木 誠也 (広島東洋)	Y.グラシアル (福岡ソフトバンク)
9、10月度	上田 剛史 (東京ヤクルト)	中島 宏之 (オリックス)

2021年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	亀井 善行 (巨人)	岡 大海 (千葉ロッテ)
5月度	岡本 和真 (巨人)	該当試合無し
6月度	大和 (横浜DeNA)	T-岡田 (オリックス)
7、8月度	大山 悠輔 (阪神)	高濱 祐仁 (北海道日本ハム)
9月度	坂倉 将吾 (広島東洋)	B.レアード (千葉ロッテ)
10、11月度	山田 哲人 (東京ヤクルト)	岡 大海 (千葉ロッテ)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	青木 宣親 (東京ヤクルト)	中田 翔 (北海道日本ハム)
5月度	高山 俊 (阪神)	辰己 涼介 (東北楽天)
6月度	原口 文仁 (阪神)	鈴木 大地 (千葉ロッテ)
7月度	Y.ソラーテ (阪神)	中村 剛也 (埼玉西武)
8月度	石川 慎吾 (巨人)	清田 育宏 (千葉ロッテ)
9月度	N.ソト (横浜DeNA)	E.メビア (埼玉西武)

2022年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	西川 龍馬 (広島東洋)	浅村 栄斗 (東北楽天)
5月度	山崎 晃大朗 (東京ヤクルト)	栗山 巧 (埼玉西武)
6月度	宇草 孔基 (広島東洋)	島内 宏明 (東北楽天)
7月度	R.マクブルーム (広島東洋)	高部 瑛斗 (千葉ロッテ)
8月度	秋山 翔吾 (広島東洋)	近藤 健介 (北海道日本ハム)
9、10月度	丸山 和郁 (東京ヤクルト)	宗 佑磨 (オリックス)

2020年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
6、7月度	西浦 直亨 (東京ヤクルト)	A.ロドリゲス (オリックス)
8月度	上本 崇司 (広島東洋)	山川 穂高 (埼玉西武)
9月度	吉川 尚輝 (巨人)	茂木 栄五郎 (東北楽天)
10、11月度	高橋 周平 (中日)	井上 晴哉 (千葉ロッテ)

2023年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	秋山 翔吾 (広島東洋)	清宮 幸太郎 (北海道日本ハム)
5月度	長岡 秀樹 (東京ヤクルト)	紅林 弘太郎 (オリックス)
6月度	坂本 勇人 (巨人)	小深田 大翔 (東北楽天)
7月度	武岡 龍世 (東京ヤクルト)	角中 勝也 (千葉ロッテ)
8月度	宇佐見 真吾 (中日)	浅村 栄斗 (東北楽天)
9、10月度		



(参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (千葉ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島東洋)	小久保 裕紀 (福岡ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (北海道日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
2015年度	雄平 (東京ヤクルト)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島東洋)	吉村 裕基 (福岡ソフトバンク)
2017年度	宮崎 敏郎 (横浜DeNA)	栗山 巧 (埼玉西武)
2018年度	下水流 昂 (広島東洋)	森 友哉 (埼玉西武)
2019年度	高山 俊 (阪神)	鈴木 大地 (千葉ロッテ)
2020年度	西浦 直亨 (東京ヤクルト)	井上 晴哉 (千葉ロッテ)
2021年度	坂倉 将吾 (広島東洋)	岡 大海 (千葉ロッテ)
2022年度	丸山 和郁 (東京ヤクルト)	宗 佑磨 (オリックス)